

ライオンズクラブ337-A地区4RIZ



佐賀 葉がくれL C

「友愛の輪を広げよう」

1977 会報 No.16



佐賀クラブ、中央、はがくれ第一、佐賀北、そしてはがくれライオンズのポストで一日お父さんが諸富町大中島にて筑後川からの秋風が吹く中でお母さん達と子供達をまじえて、運動会のうれしさと一日中お父さんになって下さる方はどんな方だろうとおそらく前日から夜も眠れずうれしくてその日を待っていただろう。このような奉仕でお母さん方や子供達が心から喜んでくれるならライオンの皆さん少々疲れても奉仕のしがいがあるアクティビティだと思いませんか。

葉がくれの傳統を守ろう

ライオンズの誓い

われわれは知性を高め、友愛と寛容の精神を養い
平和と自由を守り 社会奉仕に精進する

ライオンズ道徳綱領

- ☆ 職業に対する不断の努力が正しく賞賛されるように心がけ、自己の職業の尊さを確信すること。
- ☆ 事業を成功させて、適正な報酬や利益を受けるのはよいが、自己の立場を不当に利用したり、人に疑われる行ないをして自尊心を傷つけてまでも利益や成功を求めないこと。
- ☆ 事業を遂行するにあたっては、他人の事業を妨害しないように心がけ、顧客や取引先に誠実であり、自己にも忠実であること。
- ☆ 世人に対する自己の立場や行ないに疑いが生じたときは、世人の立場に立って解決にあたること。
- ☆ 真の友情は損得の上に築かれるものでなく、心と心のふれ合いによるものであることを自覚し、手段としてではなく目的として友情をもつこと。
- ☆ 国家および地域社会に対する公民の義務を忘れず、かわらぬ忠誠を言動にあらわし、すすんで時間と労力と資力をささげること。
- ☆ 不幸な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人には私財を借しまないこと。
- ☆ 批評は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさげること。

葉がくれの傳統を守ろう



会長就任
半歳をかえりみて

会長 L 深町武一郎

会長の大役をお受けして半年が経過致しました。この間、役員の方々又会員の皆様方の御協力によりまして御蔭様で大過なく過して参りましたことを心より厚く御礼申し上げます。この間に特に感じましたのは葉がくれライオンズの立派な伝統ということです。「一日お父さん」又10月の東洋東南アジア大会に際して姉妹クラブの台北・函館の方々を佐賀へお迎えする行事等大変に大きい行事がありました。各担当の役員の方々そして会員の方々の心からの熱意により立派にやれたことは葉がくれクラブの会員の皆様方が心を一にして協力された結果だと思えます。

計画の段階では色々の意見が対立しても一度決定されるとその方向に向かって一つになり熱意をもって進む団結心、クラブに対する皆様の「クラブ愛」とも言うべき情熱——それが葉がくれクラブのよき伝統だと思えます。

更に台北・函館の姉妹クラブの方々との美しい友情、恐らく他のクラブでは味わえぬ姉妹クラブを持つ喜び、之も亦長い間に築き上げられたよき伝統であります。葉がくれクラブも近く8周年を迎えます。8年経過して築いたこの立派な伝統を私達は大事にし将来に向かって発展させなければなりません。

ライオンズは日常生活において人一倍の努力をして事業を成功に導かねばなりませんし又、自分の生活面においても立派なものにする努力をせねばなりません。

立派な社会人であることが社会奉仕を目的とするライオンズの基本条件であります。

クラブに入会致しますと沢山の友人が出来ます。その友人達は年令・職業を異にしておりますが夫々の「よき」を十分に学び取ること——それは自分の人間として修養に大変に役に立ちます。又多くの友人を持つ事により豊かな、楽しい人生を過ごすことが出来ます。

このようなライオンズの集りであるクラブは立派なクラブ活動を続け乍らクラブ独自の美しい、立派な伝統を将来に向かって発展させて行かねばならないと思えます。

今後共、皆様方の心よりの御協力を御願い申し上げます。



幹事に就任して

幹事 L 山崎悟一

筆をとるにあたり一番最初に会員諸賢に御礼を申し上げます。私が入会以来、又幹事という大役を無事務めることが出来るのも諸賢の御協力と御援助の御蔭と心より厚く御礼申し上げます。

何か書けという事ですが、浅学で何を書けばいいのか迷っておりますが今迄の8年間をふり返り思いつくまゝ書いて見たいと思えます。さて、現在のライオンズは果してメルビンズジョーンズの精神と一致しているのだろうか、反省すべき点はないのだろうか本当に世に恵まれない方々に光をなげかけているのだろうか？ 勉学に志す者で進学が出来ない若者にライオンズ奨学金等は出来ないのだろうか考えて見たいものです。

会員増強は必要である事はわかりますがそのため質の低下をしているのではないか、質の充実こそ重大事ではないのだろうか。

又、新入会員をスポンサーする先輩ライオンは一年間位じっくり指導されるべきではないだろうか。それによって新入会員の退会もある程度防げるのではないだろうか。

先輩ライオンの御批判を御願ひします。

最後に台北・函館両クラブと姉妹関係が出来、多くの兄弟が出来たことは私の一生に大きなプラスになったことと信じます。

会長諸賢が健康でクラブ発展のため更に協力下さることを祈念して筆をおきます。

葉がくれの傳統を守ろう



一日お父さんに想ふ

葉隠ライオンズクラブ

社会福祉委員長 江口 正人

6月に社会福祉委員長を任命され、さてこの一年、何をなすべきかと考えるいとまもなく早速“一日お父さん”の計画準備にかゝることになった。昨年度の運動会の事を思い浮かべながら今年は例年の一日旅行で済ましたらと安易な考えで、母子連に話を持ちかけようとしたところ、開口一番母子連会長が、「江口さん、運動会は楽しい、母子家庭の皆さんが今年も運動会の来る日を首を長くして待っていますよ」との御言葉、これはえらい事になったと、会長山崎幹事・松尾計画委員長の皆さんにこの旨早速報告したのです。

一週間後理事会で“一日お父さん”を運動会にするとの決定がなされ、実感としていよいよ来るものがきたとの思いです。運動会が9月3日、3ヶ月先の事業にもかかわらず、6月上旬には早速下準備にかからなければならない現状でした。この間の経緯は会員の皆さんもよく御存知のことですから省略いたしますが、この準備期間中、三役、計画委員長はじめ多くの人達のこの事業を成功させようとい丸となって努力されていられる姿をみるにつけ、これこそ本当にライオンの姿であろうと感激した次第です。

当日9月3日は晴天、前日の雨もからりと晴れあがり全くの運動会日和です。地元諸富町の絶大の御協力を得、また佐賀クラブ・中央クラブ・第一葉隠・北クラブの御協力もあずかって素晴らしい一日でした。葉隠クラブは全会員出席の奉仕ぶりです。この心が母子連500人の心に通じぬはずはありません。子供の顔、お母さんの顔、みんなの明るい笑顔が大きくはね返ってきて皆んなの心をなごませます。ほんとに一日お父さんの計画は素晴らしいアクティビティです。物心大きな苦労もこの一日の喜びでふきとびます。

葉隠ライオンズクラブの皆さん最大の御協力を得、大成功裡に“一日お父さん”を無事終了させて戴きました、皆さんに心から感謝いたします、ほんとに有難うございました。私信ですが、“一日お父さん”はただ一日の事業であってはならないと思う。母子家庭がある限り、方法こそ違え母子家庭の幸せを願って、少しでも力になってやらなければならないと思う。これこそ一日お父さんの心であると信じます。



出発前、佐賀市長のあいさつ

葉がくれの傳統を守ろう

一日お父さんへの礼状

佐賀市母子連盟 会長 持永 フミ

残暑尚きびしき折お元気に御活躍のことと存じます。去る9月4日の一日お父さん開催に当りましてはライオンズの各クラブの皆様にごの上なき御支援を賜りまして誠に有難うございました。

お天気にも恵まれた中ノ島公園の運動会、子供達は声を上げて走り廻り、母親にとっても楽しい楽しい一日でした。一切の準備から後の片付けまですっかりお手をわずらわして御礼の言葉もございません。沢山の賞品を頂いてニコニコ顔の母と子、この一日の思い出はライオンズの皆様への尊敬の念となり、生い立ってゆくこの児等の心にいつまでも消えることなきよい思い出となることと信じております。

こうして母と子の家庭に暖かい陽が当たって参りました福祉とは、幸とは、何であろうかと思ひながら、この皆様の暖かい愛の心こそ、私共に心の安らぎと豊さを与えてくれるほんとうの福祉ではないでしょうか。之が人間の一番の幸ではないでしょうか。

今後共、私共へ御指導御援助をお願い申し上げます。尚当日、思わぬ事故のため大変御心配をかけましたがその後経過も良く呉々も皆様へお詫びと御礼申し上げて頂きたいと本人より申し出ております。

最後になりましたが皆様の益々の御発展をお祈り申し上げます。御礼の言葉とさせていただきます。

佐賀市金立町千布 真島 房江

朝夕の冷えこみもそろそろ身に感じる頃となりました。皆様方益々御健祥の御事とお慶び申し上げます。

さて9月4日の一日お父さん本当に有難うございました。一日お父さんは私共母子にとっては生涯忘れ難い思い出の一ページとなりました。母子会長の話を聞きますと、この行事のために幾日も数カ月の前から計画準備かれこれと多忙に拘わらず貴重な時間を費やし御苦労頂き、又多大なる数々の品の賞品等を母子のために惜しみなく御芳志下さいましたいたれりつくせりの御奉仕の精神は、とても筆舌のつくすところではありません。

私共母子は、一日お父さんの日を指折り数え運動会を何よりの楽しみに待ったものでした。その日は好天に恵まれて、子供らはこの日ばかり胸をはり嬉しさに大いにはしゃぎました。ありし日の父親の愛を思い出してライオンズのお父さんと力いっぱい走り、笑い、転び、甘えたりの存分の愛情にひたることが出来ました事は子供らにとって最高の幸せの一日でございました。母親私共も日頃の労苦を忘れ思いきり走り、心の底から笑い快い汗を流したことはこの日だけでありました。数年間母子家庭の淋しい生活に耐え抜いてきただけにこの喜びも一しおでした。私共母子に生きる活力を与えて頂きましたこの心情が受取られて感謝で胸一ぱいでございました。

私たち母子は一家の支柱を失ってからは幼ない子供三人抱えて一時は途方に暮れました。耐えきれぬ淋しさと辛さに共に泣いた日々もありました。しかし伸び行く子供達のために頑張りぬかねばと自らを励まし母子共々に慰め、且つ励まし合って参りました。しかし女の弱い手一つで子供を育てることは難かしいものです。あまやかすすぎてもきびしすぎてもならず、そこに子供育ての難かしさがあります。又成長する喜びの中にも何かにつけ父親の存在の必要さを痛感させられます。やはり家族揃って無事故で食卓を囲む事の出来る時が一番幸せだと思います。私共母子は世の無情をかこちながらも皆様方の御芳情に対し厚く感謝し必ず答えなければと心を固めております。私も子供らを一人前になし社会に役に立つ人間として育て上げねばと張切った毎日であります。何卒今後共、私共母子達の心の支えになって頂く事を心願致しております。一日お父さん御苦労様でございました。以上粗筆乍ら御礼の御挨拶と致します。

葉がくれの傳統を守ろう

一日お父さんありがとう

六年 今 泉 京 一

今日は、まちにまった一日お父さんがある日だ、朝からとてもいい天気とてもうれしい。市役所前で市長さんのあいさつがあり、6台のバスで中ノ島公園に到着した。

かんげいのアーチをくぐり3号のテントに入る。大運動会が開かれた。

ぼくは、パン食いきょうそうや、つなひきに出た。お父さんたちのリレーは、予選では2着に入り決勝に行く時は、宣せいまでしてはりきって行かれた。

とてもおもしろいお父さんたちであった。

皆一生けんめいお父さんががんばれと大声でおうえんした。

大へん楽しい一日でした。

大へんおいそがしかったのに、ぼくたちのために、一しょに遊んでくださって、どうもありがとうございました。

小さい時の事をなつかしく思いました。

また、一年に一度のお父さんにあえるのを楽しみにしています。

ほんとうにありがとうございました。

どうぞお元気でお体に気をつけてがんばってください。

三年四組 山 口 勝 利

ぼくは、一日おとうさんにいきました。はじめでだったのであんまりやりかたがわかりませんでした。でも、かけっこのは時は1とうになりました。とてもうれしかったです。

それでおかしをもらいました。おかあさんもかけっこにでて、さいごから3ばんめでした。でもおかあさん、ぜんりょくではしたので、「まけてもよかよ」といいました。

ぼくたちのはちまきのいろは、き緑でした。

つぎに、ぼくはでませんでした。でも、どてで、バツタをつかまえていました。でもなかなかつかまえきれませんでした。つぎにぼくは、でました。

でも4とうでした。でも、ぜんりょくではしたので、ぼくはよかったとおもいます。

とうとうお昼になりました。おべんとうをひ

らいたら、おいしそうなものばかりでした。

べんとうをたべて、のみものをのみました。ぼくはコココーラで、おかあさんはグレープでした。

そしていつとき、リレーをしました。バツタをつかまえようとしたら、かまきりがでたのでまさのりくんにやりました。

そのつぎに、あめゆをのみました。

あまくて、なんか、くすりみたいでした。でも、はんぶんののみました。でもおいしかったです。いよいよつなひきがはじまりました。2かいしました。

ぼくたちは1かいまきました。2かいめはかちました。そしてバスにのって帰りました。

＊この文はテレビの中にある歌だそうですがお父さん方に、私も元気ががんばりますという心を表わすためにかいたとって持ってきました。

神野小学校 三年

井 手 まゆみ

四つのてんとう虫

ぼくらは 四つの星なのさ
夜空に輝く 星じゃなく
てんとう虫の とぶように
元気に明るく なくもんさ
そうさ はげしい 嵐に吹かれても
おや子 元気にとぶもんさ

＊之は本児が作ったものです。

「父さんほしくても びんぼう
ぐらしも まけないさ
みんなにまけない てんとう虫」

葉がくれの傳統を守ろう

一日お父さんありがとう

二の四 ながお ひろふみ

ぼくは一日おとうさんの日をまっています。
おとうさんやおばさんたちがいっぱいでした。
一日おとうさんにいたらおみせがいっぱいでした。わたがしもたべて、とてもうれしかった。じゅうすはとてもおいしかったです。

そして、かけた人たちもとてもはやかったです。

おべんとうもたべてとてもおいしかったです。そして、ばつたをとってとてもおもしろかった。そのとき、リレーにでようとしたらおとうさんが一回してみたらぼくがまけたからでられなかった。そしてよしたけくんがいてとてもうれしかった。そしたら、つなひきをしました。はじめ、ぼくたちがかったらあとでまけました。さいごらへんでカードをおかあさんがとりました。そのカードは40でかいてありました。

さいごに、たおるをもらってとてもうれしかった。そのたおるはおおきかったです。

成章中学二年 井手 さつき

9月4日 日曜日、諸富の中ノ島公園に一日おとうさんで行きました。

まず、おどろいたことは、広々としていて、緑が地面いっぱい広がっていたことです。入場する時に、お父さん方や、いろいろ、私たちのせわをしてくださるおばさんたちが、みんながはいってくるまで拍手をしてくださった時にしょうじきにいて、とってもはずかしくて顔が、まっ赤になりました。

一人のおとうさんが、「いらっしゃい」をいわれた時に、思わず「こんにちは」とことばが出ました。

私はいつのまにか「にこにこ」しながらどうどうとはいって行きました。青空が空一面にひろがっていたのですがすがすがしい一日になると思えました。

自分のとんしょについて、さあ、何に出ようかなあと考えていました。まず私が出たのは、60mリレー3位か4位でした。

途中でのどがかわいたので、お茶をのみに行った時、とっても冷たくておいしかった。近くに、おばさん方がいて、とってもやさしいおばさんたちばかりでした。

お昼にお弁当をたべる時、運動をたくさんして、とっても弁当がおいしかった。

お弁当をたべて後半はあまり出られなく、おかあさん方たちのいろいろな競技が多かったようでした。おかあさんたちも一生懸命にしていたようでした。

最後の競技にリレーがありました。がんばった結果、3位でした。最後ではなかったのがよかった。でも少し時間があまったので、お父さん方のリレーなどがありました。お父さんたちは、一生懸命に走っていらっしゃいました。でも少しショックだったことは、お母さんが来な

かったこと、もう少し競技をふやしてほしかったことと、時間があまったことです。でも楽しい一日でした。お父さん方、ほんとにありがとうございました。また仕事にがんばって下さい。

中学二年 宮崎 祥子

私は、9月4日お母さんたちとみんなで、諸富町中ノ島公園でライオンズのお父さんたちと一しょに運動会がありました。

運動会のある中ノ島公園に着くまでには、まず寮から市役所まで歩いて8時20分ぐらいにやっと市役所に着きました。

市役所についてから、市長さんの話やその他注意などがあり、9時にバスにのり9時半に中ノ島公園につきました。

ついてからまず自分のテントにはいり、そしてすぐ集合しました。集合した時、開会式で諸富町の人のおいさつがあり、私がおどろいたことには、町の人からたくさん寄付金やおくりものが、私たちのためにたくさんあつまっていました。私はその時もう少しで涙があふれそうでした。いろいろの人々の話もおわり運動会が始まりました。

私は60mに出ましたがとてもおそかったのがっかりしました。

幼児の人々から大人の人までほとんど出場しました。

中にはパン食い競争があり、お母さんたちがふだん見せないような本しょうが出て私はとてもおもしろかった。

また、ライオンズのお父さんたちとお母さんが協力したもありました。

それから、スリッパをはいて後ろむきで走るものもありました。しかしそのとちゅう、突然女の人がおれしました。私はびっくりしましたが結局女の方は車にのってかえりました。

昼食も弁当やジュースなどのほか、わたがしの無料サービスもありましたが人が多くてあまり食べられませんでした。

パンやあめゆも無料で中には、何杯もあめゆをおかわりする人もいました。私はこのあつさでよくそんなにのめるなと思ってかんしんしながら見ていました。

いろいろ楽しいことがありましたが、時間は過ぎる一方です。とうとうみんな競技がおわりました。

今日一日とてもたのしかった。ライオンズのぬ父さんありがとうございました。

私は、また来年いきたいと思いました。

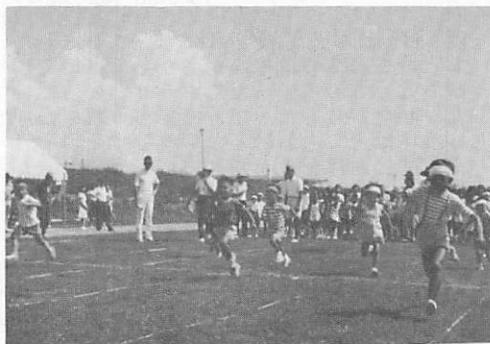
他にも多数礼状が来ておりますが割愛させて頂きます。

葉がくれの傳統を守ろう

一日お父さんスナップ



市長のあいさつをうける
母子連の方々と子供達



ちびっ子よ がんばれ、がんばれ
もうすぐゴールだぞ



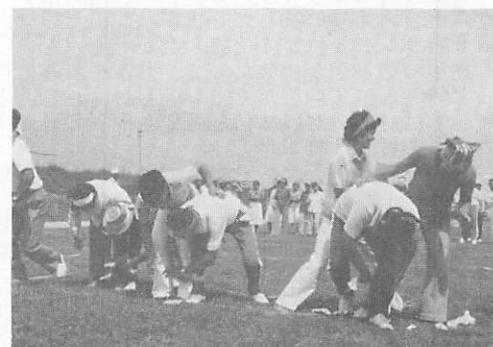
今日一日中けがのない様に
又、楽しく過ごして下さいねと
深町会長のあいさつ



あら！ このおじさんは葉がくれ
の人よ、がんばっていますよ



諸富町長のあいさつ始めみ時は
自衛隊のおじさんかなと思いまし
たよ。仲々お世話の出来る人でした。



あわてるとすぐひもがとれますよ
しっかりむすんで

葉がくれの傳統を守ろう



むかでの足もむちゃくちゃに
なってるじゃないの



一生懸命ですよ、ライオンのおじさんも



会長さんはなにをされていますか



わかれのバンザイ
又来年も



ボールも思う所には行きません



会長賞を手にした母さんの顔



シベリヤ捕虜生活の苦しかった思い出

藤島 虎雄

葉がくれL. Cでは誕生日になるとテイルツイスター氏から感想を一言とマイクをむけられる。そのとき、私には誕生日が二回ですと、一回目はお袋さんから出たとき、二回目はシベリヤより復員して舞鶴に上陸した時、昭和23年5月8日です、と答える。そして第1回はシベリヤで終わった。そして唯今は第2回目の人生です……とそのようにシベリヤの生活は苦しかった。そして飢と寒さで多くの戦友がなくなった。私は生き残りですから……………

2月1、2、3日と札幌の雪まつりに行って来たという、ライオンズクラブの獅友K氏が零下7度～10度の中での雪まつりは耳が凍傷になる程手足が冷たかったと言い乍ら雪まつりの華やかな写真をみせてくれた。そして乾燥した雪がサラサラと舞いながら飛んでくる粉雪の話。ふむとキンキンと軋む音を発する雪の話、等をして九州に比較して北海道が特に寒かったことを話してくれた。

その雪の冷たかった話から忘れていた30年前のシベリヤの捕虜生活が急に思い出されて、寒かったこと、冷たかったこと、そして飢しかったことの記憶が悪夢の様に思い出されてきた。そして次の瞬間には10年前、アンカレッジの空港から町はずれの景色を眺めているうちにその景色がシベリヤの捕虜生活の景色その俣の姿にみえてきて大きなショックを受けた事等が思い出されてきた。

丁度10年前の10月頃欧州各国を旅行したときのことであった。K. L. M、オランダ航空で東京からアムステルダムまで北極経路で飛んだ。東京を出発して6時間でアラスカのアンカレッジ空港に給油のためか1時間の休憩時間があった。私は蒸された機内から降りて空港待合室に出た。10月のアラスカは既に真白の粒雪が下りていて如何にも寒そうにみえた。私はこの町の姿を見物しようと思ひ展望のきく場所に出て、それとなく、アンカレッジ空港の郊外の景色を眺めていた。その景色は煙突のある煉瓦造の西洋風の建物と、木柵が廻らしてある、ロシア風木造づくりの建物が立ち並んでいて北国の町特有の淋しさをもっていた。郊外は真白い雪の中を白樺林が果てしなく遠くまで続いて先がみえなくなっていた。

田園は見渡す限り小さな粉雪が舞っており、遠くで犬の遠吠えが聞えてくる様で、寒々と凍った冷たい空気の中を橇馬車や犬が走っているのが見え

た。

私は急に寒感を覚えた。そして見る見るうちにその眺めている景色に恐怖を覚えた。恐ろしくなって目を閉じた。現実で眺めている郊外の景色がシベリヤの捕虜時代の収容所(ラーゲル)と全く同じ光景にみえ初めたからである。勿論錯覚ではあるが、足掛4年間の捕虜時代の労働に明け暮れた苦しかったシベリヤの筏採現場が目の前にみえてきたからである。今にもマンドリン銃をつきつけて“ダワイ・ダワイ、”と呼びにくるのではないだろうかと思われた。復員してから何十回となくシベリヤの悪夢をみてはうなされた事があった丈に、そのシベリヤの景色が私を芯から恐怖の世界に引きずりこんでしまったのである。

私は夢でも見ているのではなからうかと感違ひして私の腕をつねってもみた。“あ、痛、”と感じて夢でない現実である事を知って安心した。そして次の瞬間には“あ、もうこの景色は二度とみたくない、”と急いで機内に引きかえした。そして私自身「ホット」した。長い溜息をつき乍ら暫く目を閉じて長嘆息をした。

昭和20年から昭和23年5月まで足掛4年間の捕虜生活は私をしてそれ程までに身心共に根こそぎ疲れさせてしまっていたのである。

苦しかった捕虜生活はシベリヤの景色に似た景色を眺めている丈でもこの様にショックを受けるのだろうか。それも数多くの捕虜となった同胞戦友達がつきつぎに寒さと栄養失調で死んでいったことをこの目で知っているからで、シベリヤ恐怖症というものにとりつかれているためかも知れない。冬の寒い日死んだ戦友の骸を土葬するのに、カンカンに凍った土を掘りおこす力も元気もなくただ雪を掩って埋葬した事実も次々に思い出しては復員当時はよく一人で涙ぐむ事がよくあった。

葉がくれの傳統を守ろう

ここでシベリヤで捕虜となっていた30年前の事を思い出してみよう。応召前、私は当時満鉄の大連鉄道技術研究所の軌道研究室に勤務していて鉄道枕木の研究をしていた。昭和19年3月突然召集令状を受けた。そして勇躍北滿の虎林の関東軍に入営した。昭和20年6月にはソ連と満州国の国境にある黒龍江岸にある三神府部隊に配属され、厳しい軍事教練を受けていた。昭和20年8月9日ソ連軍が突然として満州国侵入してきた。日ソ戦が始まった。私達の部隊は命令一下孫呉まで後退して原隊に復帰ということで不眠不休5日間かかって孫呉の陣地に追いついた。孫呉の陣地は関東軍が何年もかかって作った陣地だけに頑丈に築造されていたが戦車と砲は殆んど南方に移動されていて皆無の状態であったので、ときどき我軍の砲が弾をうっていたがそれも敵につぶされて陣地は敵の戦車で包囲させられていた。そこで毎夜肉弾決死隊が爆薬を抱えて帰らぬ出撃を繰り返していた。終戦の詔勅もみならず8月20日頃まで戦争をくりかえしていた。

やがて私達の部隊も終戦を知り無念、涙ながら天皇陛下の命により武器を捨てやむなく捕虜となった。次に好むと好まざるとにかかわらず、部隊毎に編成されて遠くシベリヤに輸送され抑留させられた。——私達は約1,000人の集合部隊で黒龍江黒河よりブラゴエ、エセンスカヤーに渡りここから約七日間の汽車でシマノフスカヤーという駅に下ろされた。そこから徒歩で一日歩いた所のセジモイ地区で木材伐採の労働に従事させられていた。

そして毎日不足勝の食糧と与えられたノルマを強要させられた。気候のよい秋までは雑草等を焚いて食べられたからよかったものの段々寒くなって零下10度から20度と気温が下がるにしたがって寒さに弱い日本兵捕虜達は震えあがった。霜やけになり凍傷になり跛者(ビッコ)になったりして歩行にも仕事にも苦しくなってきた。時には零下30度以上にもなることがあった。そんなときは防寒帽を冠っていても両頬が突張った様になり無精ヒゲにはつららが下がり腿(マツゲ)にも白い霜がつく様になる事があった。食糧は段々窮屈になって寒さと飢えが生命をおびやかす様になってきた。又苛酷と思われる程「ダワイ」「ダワイ」の声がマンドリン銃と共に精神と肉体をおびやかす続けていた。日本人捕虜達は寒さとひもじさで段々と弱り始め体力を消耗させて栄養失調

となっていた。

なれない伐採の労働は日本兵には苛酷な労働に思えた。そして弱い者から次々に倒れていった。やがて収容所の中の戦友が昨日も今日も次々に死んでいった。

いつかは自分にも死の運命が訪れがくるであろうと思うと、居ても立ってもいられなくなりここ人里はなれた電灯もない収容所が生地獄の様に感ぜられた。早く日本へ帰してくれないだろうか？とお互いに話し合った。早く日本の故郷に帰りたい、親や妻や子供に一目でもよいから会いたい。若し実現できたら死んでも本望だと本気に思う様になった。併し誰一人として帰れる日を答えてくれる人はいなかった。

空しい毎日が続いて兵隊達は自暴自棄に陥入った。中には成功覚束ないと知り乍ら脱走する兵士もいたがすぐ捕えられて見せしめのため重営倉に入れられたりした。

雪の積った寒い原野での伐採は誠に重労働であった。灰色の空からは林の中を通して冷い粉雪が降ってくる。容赦なく冷い粉雪が身の廻りを包む。手がこごえて手袋も役に立っていると思えない程感覚がなくなってくる。身体の芯まで冷えきって凍えそうである。黙々と引いている長鋸子に力が這入らない、お腹が空っぽになって力がなくなっているからである。歩いて帰る気力さえなくなってきそうである。「あゝ唯一度丈でよいから腹一杯食べて満腹感を味えたら死んでもよいと言うまでに餓鬼道におちてしまっていた。そして或る戦友は空腹を訴え続け乍ら切実な声を残してあの世に去った。この様に収容所には死の恐怖をいだいた灰色の毎日が続いていった。

シベリヤの夜の空は北斗七星がものすごく大きくはっきりみえた。故郷の親や妻や子供もこの北斗七星を眺めているだろうかと思うと望郷の念が一杯となって星にむかって涙を流しあの菅原道実公を想ったり、阿部仲磨をしのんだり或は戦友と故郷の話し等をしてお互いなぐさめ合ったりする時間もみつける様になった。そんなとき急に感傷的になり、今後自分の運命はどんなになっていくのだろうかと思案に考え、又戦友と打明け話しを繰り返したりした。

日本兵捕虜の生きてゆかぬがための苦しい生活の状態は日本軍の軍馬にも同じ事が言えた。

揮虜となった日本軍に馬も遠くシベリヤまで送られていた。これ等の馬はかつては日本軍のため

葉がくれの傳統を守ろう

に大砲を引張り軍需品を輸送して日本軍の威力の一役を買っていたが、終戦と同時に兵隊と共にシベリヤに送りこまれて我々日本軍捕虜の糧秣を輸送する役目に廻わされていた。やはり、なれない厳寒と飢えとで栄養失調となり次々に倒れていった一兵隊と同様に。

私は学生時代乗馬クラブに這入ったことがあった。又軍隊時代も馬部隊に入営して馬との縁がきれなかった。押虜となっても幸いなことにロシア語を多少修得していてロシア語が少々話せたので収容所長から命ぜられて日本兵捕虜の糧秣を輸送する馬の世話役を担当させられ馬小屋勤務をさせられた。そして夏は馬車で冬は橇馬車で糧秣を輸送していた。

馬は人間の言葉がわかる動物といわれている。馬と寝起きを共にすると人間の心と馬の心は通じ合うもので、笑っている馬、悲しそうな馬、苦しそうに訴える目、私にはそれがわかるようになった。栄養失調となって倒れて一人では起きられず、助けを求めて起こされるときに悲しそうに訴える馬の目には涙が光っている様にみえた。馬が死ぬ真ざわに苦しそうに訴えるのに何一つ注射もしてやれない自分がくやしくてならなかった。ただ撫でてやる丈しか出来なかった。その訴える苦しい目は今日でも忘れることはできない。

或る日やせ細った、リシカと名付けられた日本の栗毛の馬が力尽き果たして馬屋で倒れた。人力を借りて起こして立たせたが又倒れて、とうとう起きられなかった。私は残念だったが、余儀なく収容所長(ナチャーリニック)に馬が倒れた旨報告に行った。収容所長が馬屋にやってきて暫く馬の状態を眺めていたが、突然ソ連兵に命じて小銃をもって来らした。そして私にこの馬を死刑にせよと小銃を私に渡した。私は面喰った。“私にはこの馬を撃てない、こればかりは許して下さい。”とたのんだ。所長はソ連兵の警備兵に命じて馬の頭(コメカミ)にあてて引金を引いた。そして収容所長はこの馬の肉は収容所の炊事場に送れと言って立ち去った。その愛馬リシカの最後の目と撃たれて瞑った目とは復員してからも時々思い出しては空しく時間を過ごすことがあった。

この様に馬も日本兵捕虜と同じ様な苦しい生活がつづき弱い者から倒れていった。あのボロボロになった軍服姿の戦友を思い出すとき私の心は亡霊にとりつかれた時の様に数々の群像が次々に現われては姿を消すのである。

日本の8月15日のお盆が何回来て、あのシベリヤの魂丈は昇天できずにおるのではなからうかと今尚、ゾーッとするような身震いを感じる。

その様に捕虜生活の一番苦しい時期にやがては我々捕虜にもダモイ(帰国)の日がやって来る、苦しいけれど頑張ろう。我慢しよう、そして自暴自棄になるなど戒め合った。

このときに作詩したのがこの“愛馬の唄”である。

馬にたとえたこの唄であるが日本人捕虜達の姿をうたった唄である。

北斗七星の輝く寒空を眺め乍ら故郷を偲びいつしかこの愛馬の唄を口ずさんでいた。私は捕虜生活中この愛馬の唄が私の心を支えてくれたと言っても過言ではない。この唄を歌うとき、今日でも私はつい涙を流してしまうのである。沢山の戦友の顔が浮かんでくるからである。又死んだ日本の愛馬達のことも……幾多の面影を偲び乍ら静かにこの愛馬の唄を歌ってみよう。

説明：歌詩に“オーラ・オーラ、”という句がある。

これは日本軍馬の頃兵隊さんたちが馬に食事をやるときとか、馬の手入等をするとき馬に近づいて愛撫をするときに使った言葉である。又“おゝ青よ、”の青は、昔一心太助が馬につけた愛称で、青とは愛馬のことである。又、“ナザー、ストイ、”という句はロシア語で後退、停止という意味であり“セーナ、”は乾草である。

葉がくれの傳統を守ろう

愛馬の唄

作詩 藤島虎雄
作曲 山村少尉
原口友子

- | | | | |
|-------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| <p>1 馴れぬ馬装に
凍る厳寒
汗の炎天
お国を思うか
“おー青よ、
よくぞ一年</p> | <p>わからぬ言葉
吹雪を馬糞
虻、蚊に耐えて
“オーラ、オーラ、

やってきた</p> | <p>3 知らぬ他国の
ナサー（後退）ストイ（停止）も
ハイシドウドウは
寒さを偲ぶか
“おゝ青よ、
馴れよこの土地</p> | <p>言葉になれて
自在に出来て
昔のままに
“オーラ、オーラ、

この気候</p> |
| <p>2 “オーラ、オーラ、と
好きな人蔘
足らぬ燕麦
飢じかろうな
“おゝ青よ、
今年の冬は</p> | <p>愛撫をされて
かじっていたに
セーナ(乾草)でみたし
“オーラ、オーラ、

たのんだぞ</p> | <p>4 去年の冬には
倒れて起きれず
寒さ飢じさ
耐えて忍べよ
“おゝ青よ、
やがては春が</p> | <p>お前もやせて
助けを乞うた
もうすぐ馴れる
“オーラ、オーラ、

やってくる</p> |

変ホ長調 *moderate (Es dun)*
mf

なれぬばそーに わかーらぬ ことーば
こーおる げんーかん ふぶーきを ばそーり
あせのえんてんあぶかにたえて おーくにをおもうか
オーラオーラ おーおおーおよー よくぞひととせ
やーてきーた

葉がくれの傳統を守ろう

昭和52年度後半事業計画

月	委員会	委員長	事業内訳	5クラブ 共同ホスト	労力奉仕	アクティビティ 金額
1	市民 教育	L石丸 L 辻	少年刑務所成人式ボールペン寄贈 1月15日 5×5,000=25,000 市内少年補導研修参加 (少年センタ)	佐賀L. C	労力奉仕	11,000
2	教育 市民 環境 教育	L 辻 L石丸 L高森 L 辻	市内小中学校善行生徒表彰 5×25,000=105,000 市内公園清掃 } 2委員会共同 " } 市内小中学校作文コンクール募集入選者表彰	はがくれ第1	労力奉仕 "	25,000 130,000
3	教育 社会 公衆 "	L 辻 L江口 L山田 "	県立図書館ライオンズ文庫寄贈 ロザリオの園 (老人慰問) 盲学校卒業生へ白衣贈呈 市内小学校へ傘配布 130本	佐賀	労力奉仕	40,000 1,000 45,000 80,000
4	教育	L 辻	壮年体カテスト NS参加			
5	保健 教育	L川尻 L 辻	会員ライオンの血液型の検定登録及び献血 市内少年補導研修参加 (少年センタ)		労力奉仕 "	
6	レオ 環境 レオ 市民	L松井 L高森 L松井 L石丸	駅前時計塔清掃 神社、仏閣、公園清掃 レオフォーラム東京大会参加 ボーイスカウト活動助成金 { 市10,000 県5,000 5×15,000=75,000		労力奉仕 "	15,000

新入会員紹介

L 堤 健 太 郎 S 2 3. 1. 5 生
佐賀市多布施 2 丁目 6 - 2 8 TEL 0952 23-3367
有限会社 堤酒店 取締役
スポンサー L 江島 正治

L 伊 東 朝 一 S 2. 2. 3 生
佐賀郡東与賀町大字田中 534の1 TEL 09524 5-1355
伊東鉄工所 代表者
スポンサー L 山田 猛

L 鶴 田 忠 則 S 12. 7. 15 生
佐賀市呉服元町 7 - 1 3 TEL 0952 24-1795
有限会社インテリヤツルタ
代表取締役
スポンサー L 山田 猛



故 中 村 守 登

S 4 5. 7. 1 ~	S 4 6. 6. 3 0	副 L . T
S 4 6. 7. 1 ~	S 4 7. 6. 3 0	L . T
S 4 7. 7. 1 ~	S 4 8. 6. 3 0	出席委員長
S 4 8. 7. 1 ~	S 4 9. 6. 3 0	副 会 計
S 4 9. 7. 1 ~	S 5 0. 6. 3 0	式典参加委員会
S 5 0. 7. 1 ~	S 5 1. 6. 3 0	レオ委員会
S 5 1. 7. 1 ~	S 5 2. 6. 3 0	社会福祉委員会

S 4 8. 4. 2 2	第 1 9 回年次大会参加
S 4 9. 4. 2 1	第 2 0 回年次大会参加
S 5 0. 4. 2 9	第 2 1 回年次大会参加

葉がくれの傳統を守ろう

例会記録

佐賀葉がくれライオンズ・クラブ

S52.7.8

- ① 会長、幹事一年間の抱負
- ② 前三役へ感謝状、記念品の贈呈の件
- ③ 会員名簿配布の件 一冊 2,500円(幹事)
- ④ 1976年度決算報告(前会計、監査)
- ⑤ アイバンク協力者表彰状贈呈の報告(幹事)
- ⑥ 4 R Y Eの件
- ⑦ 函館東L.C派遣学生 記念品ドネイション承認の件(L. 深町達)
- ⑧ 会館決算報告
- ⑨ 事務局管理委員会設置並に管理委員選出承認の件
- ⑩ 1977年度予算審議の件(L. 森)

S52.7.22

- ① 7月11日社会福祉委員会1日お父さんの打合せをしました。(L江口)
- ② 7月14日出席委員会を開きました L北園
- ③ L小柳退会の件
- ④ 葉がくれ会館従業員の件
- ⑤ 例会皆勤者表彰の件
- ⑥ MUに関する説明を御願います 情報L宮島
- ⑦ 4Rより訪台の委嘱状が来ております
L松尾 L深町達
- ⑧ 7月18日管理委員会が開かれました
L宮島
- ⑨ 函館東L.C訪問ライオンの旅費の件
- ⑩ レオ委員会決算及び予算案報告 L松井
- ⑪ 7/22 14:00 事務局で会長・幹事・計画委員長合同会議(5クラブ)
- ⑫ 7/31 函館派遣壮行会 11:30 葉がくれ会館

第171回例会幹事報告

S52.8.12

- ① 7月25日4 R Y E訪台学生派遣団出発
- ② 7月30日4 R Y E訪台学生派遣団帰国
- ③ 7月31日函館派遣学生の壮行会が行われました。
- ④ 8月2日、L松尾台湾より帰国されました。
- ⑤ 8月3日函館派遣学生出発
- ⑥ 8月7日函館派遣学生無事帰佐されました。
- ⑦ 8月6日ブロック会議(ニューオータニ)
- ⑧ 8月6日理事会にてL大間の337複合地区レオ副委員長
A. 委嘱の件が承認されました。
B. L犬塚の4 R Y Eコージネータの件承認されました。
- ⑨ 8月7日山水荘にてゾーンの諮問委員会が行なわれました。
- ⑩ 事務局長の給料の件、各クラブ1万円+150円 × 86名
- ⑪ 8月8日対ガン協会援助金の贈呈式が行なわれました。

幹事 山崎 悟一

第172回例会幹事報告

S52.8.26

- ① 8月17日ガバナーIZ訪問、鳥栖市役所にて会長、幹事、会計出席
- ② 8月18日Y E反省会並びに映写会 L深町
- ③ 8月19日Lオ農場草刈奉仕 L松井
- ④ 8月19日脳性マヒ児心理療育サマーキャンプ結成式 会長出席
- ⑤ 8月19日 出席委員会 L北園
- ⑥ 8月22日一日お父さん最終打合せをしました。社会福祉委員会、計画委員会
- ⑦ 8月22日脳性マヒサマーキャンプ参観 第一副会長、幹事、L川尻
- ⑧ 夏期青少年補導について打合せをしました。
L社
- ⑨ 例会不良出席ライオンに対する対策について

葉がくれの傳統を守ろう

- ⑩ 9月7日会長台北中央獅子会にお礼に行かれます。(片倉ライオン病気に対する)
幹事 山崎 悟一

第174回例会幹事報告

S52. 9. 22

- ① 9月4日一日お父さん大運動会成功裡に行なわれました。ライオンの御協力に感謝します。
② 9月9日山水荘にて葉がくれ第一クラブと同例会
③ 9月10日会長台北より帰国されました。御苦労様でした。
④ 例会23日を22日変更の件(23日祭日につき)
⑤ 4 R Y E事業について報告 L 犬塚
⑥ 9月15日佐賀クラブ15周年祝賀式に17名参加
⑦ 9月22日午後6時より開花園にて5クラブ三役会議
⑧ 9月23日午後1時より山水荘にて管理委員会
⑨ 9月25日の県内ソフトボール大会についての説明 L 宮島
⑩ 東洋東南アジア大会に台北・函館東クラブより多数参加のため特別委員会設置の件
⑪ 一日お父さん協力者に対する感謝状贈呈の件(諸富町町長、母子会、商工青年部)
幹事 山崎 悟一

第176回例会幹事報告

S52. 10. 28

- ① 10月1日歴代会長幹事会(キャンドル)にて行なわれました。
② 10月3日台北・函館受入れの特別委員会を開きました。
③ 10月5日特別委員会予算承認のため緊急理事会
④ 10月9日特別委員会を開き行動計画書を作製しました。
⑤ 10月14日早朝例会駅前清掃作業を行ないました。

- ⑥ 10月14日台北より訪日団21名福岡空港着、御出迎え御苦労様でした。
⑦ 10月14日台北訪日団歓迎会(武雄京都屋にて)
⑧ 10月15日函館東LCより8名来佐、御出迎え御苦労様でした。
⑨ 10月15日台北・函館両クラブ歓迎会(増田会館にて)
⑩ 10月16日東洋東南フォーラムに3クラブで参加しました。
⑪ 10月16日函館LCさよならパーティー(福岡平和楼にて)
⑫ 10月17日台北LCさよならパーティー(開花園にて)
⑬ 10月17日函館LC帰国多数御見送り感謝致します。
⑭ 10月18日台北LC函館に出発、葉がくれより6名同行
⑮ 10月21日函館19周年式典参加者6名帰佐、御出迎え誠に有難うございました。
⑯ 会員増強についての報告 L 吉富
⑰ 函館東LCに対するドネーションの件
⑱ 一日お父さん収支決算報告 L 江口
⑲ 管理委員会についての報告 L 宮島
幹事 山崎 悟一

第177回例会幹事報告

S52. 11. 11

- ① 10月30日伊万里肥前福島クラブ10周年式典が行なわれました。参加ライオンは御苦労様でした。
② 11月6日神埼クラブ10周年式典多数御参加ありがとうございます。
神埼レオクラブ誕生御祝金として6万円
③ 11月6日大牟田中央クラブ10周年式典に4名参加、誠に御苦労様でした。
④ 11月8日管理委員会山水荘で行なわれました。
⑤ 11月11日葉がくれクラブ8周年式典山水荘にて行ないます。
⑥ 11月25日第2例会は商工会館5階に変更になりました。

葉がくれの傳統を守ろう

- ⑦ 11月26日基山にて第2回諮問委員会が行なわれます。
- ⑧ 11月30日新入会員研修会武雄文化会館にて L宮島
- ⑨ 新入会員所属委員会
L伊藤 出席委員、L堤 社会福祉、L鶴田 式典委員

第178回例会幹事報告

S52. 11. 25

- ① 11月11日葉がくれ8周年式典盛大に行なわれました。(山水荘)
- ② 11月16日烏栖クラブでネスクラブ結成式が行なわれました。 L小野
- ③ 11月18日葉がくれ第一ライオンズクラブ2周年記念、アクティビィに3万を援助金として差上げました。

- ④ 11月16日前会長L古川夫人に花輪と香典を贈りました。
- ⑤ 11月26日基山にて第2回諮問委員会があります。(会長、幹事)
- ⑥ 11月27日杵島LC結成式が行なわれます(会長、幹事、会計、L大間)
- ⑦ 12月19日クリスマスパーティをニューオータニで盛大に行いたいと思います。会員全員の御参加を御願ひします。(家族同伴)
- ⑧ 53年6月東京にて国際大会が行なわれます。大会参加希望者は申し出て下さい。

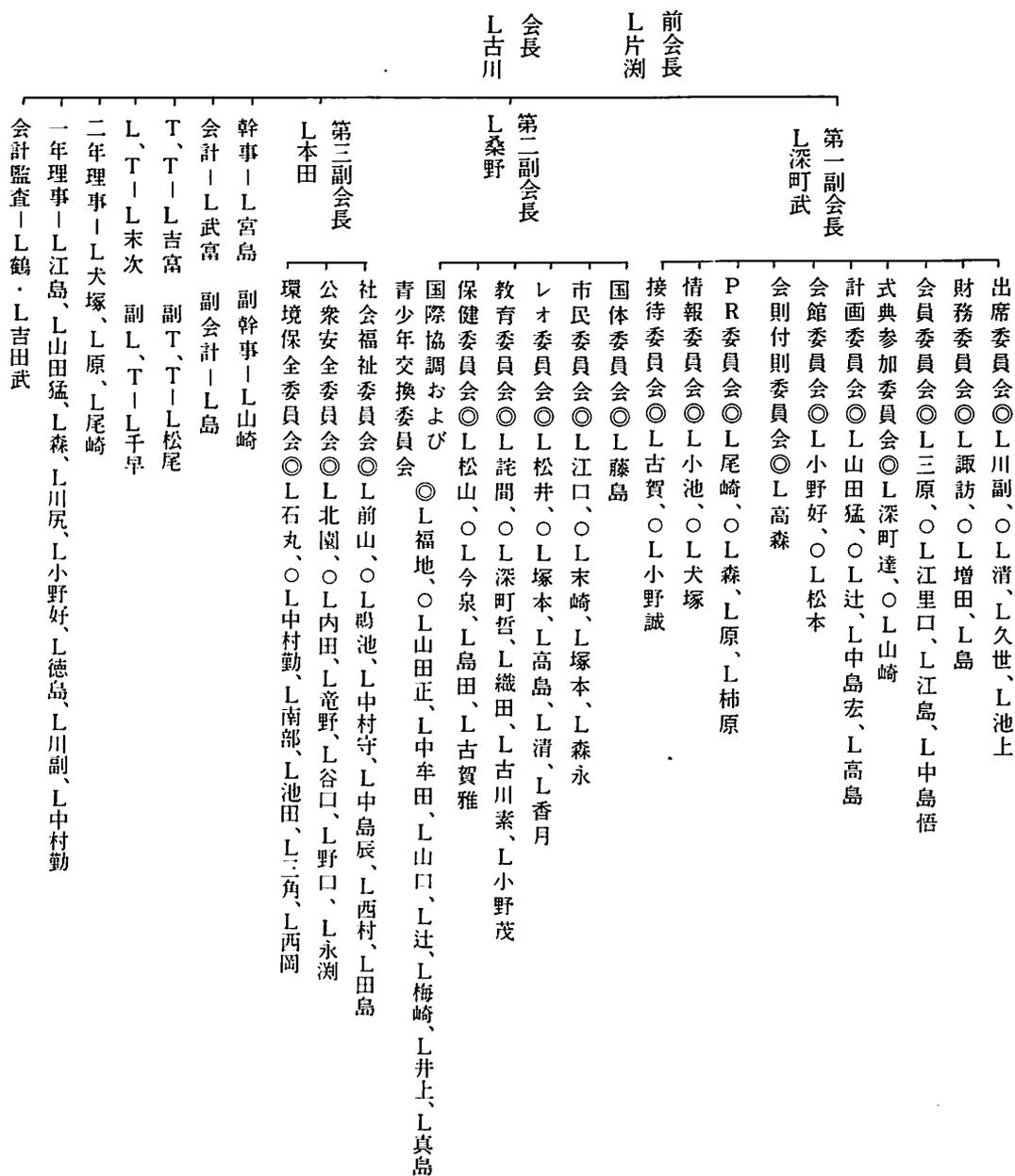
幹事 山崎 悟一

葉がくれの傳統を守ろう

昭51. 7 ~ 52. 6

佐賀葉がくれライオンズクラブ組織表

◎…委員長
○…副委員長



編 集 後 記

藤島ライオン原稿有難う御座いました。

会報紙が大変遅くなり申しわけありません。

PR委員として任をまかされましたが勉強不足のため何を書いてよいものか通り一編の会報誌になってしまいました。

次号は心機一転新らしい会報誌をと思っています。

会員のみな様の御指導を宜しく御願ひ申し上げます。

PR委員 末崎